

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年3月22日から			
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	09 その他事務管理(議会)
事務事業名			02 会議録作成運用事業
根拠法令・例規等			地方自治法 備前市議会会議規則 備前市議会委員会条例
問 担当課(室)			議会事務局
合 職・氏名			議事係長 桑原淳司
先 電 話			0869-64-1803

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	市議会議員・市職員・市内の有権者
目 的 (何のために)	正確性を確保しながら、できる限り迅速に会議録を作成し、関係者に配布するとともに、市民への公表を行うことを目的とする
行政活動 (どのような方法で)	定例会・臨時会及び常任委員会等の会議録作成、インターネットによる公開(本会議の会議録のみ)
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	議会の公式記録である会議録を少しでも早く情報提供し、活用してもらう

事業の実績					
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	会議録ページ数	頁	830	737	792
	委員会録ページ数	頁	1,592	1,246	1,652
実 績	直 接 事 業 費	千円	5,477	4,335	4,544
	必 要 人 員 人 件 費		1.10人	0.72人	0.48人
	事 業 費 費 計		14,366	10,246	8,329
	国 県 支 出 金 担 受 益 者 負 担 金 繰 入 金 債 権 債 権 所 得 其 他 () 一 般 財 源	千円			
			14,366	10,246	8,329
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	会議録ページ数	説明 定例会・臨時会の本会議の会議録ページ数			
	結 果 指 標 量	頁	830	737	792
	対 前 年 比	%	-	88.8%	107.5%
結果指標②	活 動 コ ス ト	円	8,214,000	6,497,000	5,092,000
	単 位 当 たり コ ス ト	円	9,896	8,815	6,429
	委員会録ページ数	説明 常任委員会、特別委員会等の委員会録ページ数			
	結 果 指 標 量	頁	1,592	1,246	1,652
対 前 年 比	%	-	78.3%	132.6%	
活 動 コ ス ト	円	5,376,000	3,674,000	3,237,000	
単 位 当 たり コ ス ト	円	3,377	2,949	1,959	

事業の成果					
会議録検索システムアクセス数	成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値 (A)		4000	4000	5000
	実績値 (B)		3379	3354	3954
	達成率 (B/A)		84.5%	83.9%	79.1%
到達目標値 5000					
到達目標年度 21年度					
成果指標設定の考え方・式や説明					
会議録の活用と議会への関心度を測る					

事務事業の評価			妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 議会の公式記録となる会議録の作成は、市民に本会議・各常任委員会等の審議経過や結果を詳細に伝えるために必要なものである。	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明		
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 反応作業の業者委託によりコスト削減を図っている。今後は、より一層職員の作業効率の向上に努める。	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 会議録の作成については正確性を第一に考え、できる限り速やかな情報提供ができるように努める必要がある。	
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	800	結果指標量②	1,300	成果指標量	5,000
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				廃止・完了
説 明	職員の作業効率をアップさせ、会議録の早期情報提供に努めている					

総合評価	
会議録は、議員や市民などへの情報提供の手段として重要なものであり、正確性を確保しながら作業効率の向上に努め、会議録の早期情報提供を行う。また、常任委員会等の委員会録の公開を検討する。	評価区分 <A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
			○			廃止・完了
説 明	常任委員会等の委員会録のインターネットによる公開を検討する					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		